

2023.3月速報 業況D Iは、コロナ禍からの活動回復が進み改善。先行きは、コスト増や外需停滞等から厳しい見方

全産業合計の業況D Iは、▲14.8（前月比+4.6ポイント）。サービス業はマスク着用ルール緩和による消費者意識の変化で、客足が回復した飲食・宿泊業を中心に改善、小売業もインバウンド需要の増加により売上が堅調な百貨店を中心改善しました。建設業も需要が増加する住宅関連の民間工事に下支えされ改善した一方で、製造業は電子部品関連の外需減退で横ばいに留まり、卸売業では製造業関連の引き合い減少、保管料等のコスト増も重なり悪化となりました。原材料・エネルギー価格の高騰等によるコスト増や人手不足、度重なる仕入価格の上昇に価格転嫁が十分に行えていない等、経営課題は山積していますが、経済活動は回復が進み、中小企業の業況は改善しました。

【産業別概況と見通し】 前月と比べたD I値の動き ↗改善 →ほぼ横ばい ↘悪化



建築資材・エネルギー価格の高騰に加え、コスト増に見合う価格転嫁も十分に行えていないものの、分譲住宅など住宅関連の民間工事の受注が堅調に推移し、改善。また、政府の補正予算による公共工事の受注増を期待する声も聞かれた。

- ・「人手不足対策として高齢化している技術者の若返りを図るため、企業説明会の実施やウェブサイトの更新、SNSを活用した新卒・中途採用を実施。また、生産性向上のため、現場と本社の連携による事務作業の効率化に着手し、従業員の待遇改善を図っている」（一般工事業）
- ・「受注数は堅調に推移しているが、建築資材や人手不足で人件費が高騰しており、原価に見合う受注金額が確保できず、収益を圧迫している」（管工事業）



国内の設備投資需要は底堅く推移しているものの、外需減退による電子部品関連の受注減少に加え、エネルギー価格の高騰によるコスト負担増が重荷となり、ほぼ横ばい。

- ・「コロナ禍を契機にネット通販事業を開始し、売上は堅調に推移している。一方で、ネット通販事業を開始している同業他社も増加してきており、他社との差別化を図ることで、安定した収益確保に努める」（健康食品製造業）
- ・「海外からの受注が急激に減少しており、今後の受注増加も厳しい状況である。収益悪化を防ぐため、価格転嫁交渉を進める」（計量器測定器等製造業）



海外需要の減少による電子部品関連など製造業からの引き合いの減少や、輸送費や在庫保管料、梱包資材費の高騰により、悪化。また、長期化する鷄卵の高騰により収益が悪化しているとの声も聞かれた。

- ・「仕入価格の高騰が続いているものの、全ての上昇コスト分を転嫁できていない。差額分を自社で負担している中で、電気料金、梱包資材の価格も上昇しており、収益を圧迫している。コロナ融資の返済も始まるため、資金計画を作成し、実行していく」（建築材料卸売業）
- ・「海外からの受注数が減少しているものの、ベースアップを実施し、従業員のモチベーション向上に繋げた」（電気機械器具卸売業）



物価高による消費者の節約志向の高まりは継続しているものの、インバウンド需要の増加による免税品・高付加価値商品の販売が堅調な百貨店や、卒業式などの季節品の需要が回復した服飾品小売業を中心に改善。

- ・「インバウンド需要の増加により、売上は回復傾向にある。今後の安定的な収益確保に向けては、地域住民の取り込みが重要課題であるため、催事やイベント等を通じた販促活動に注力していく」（百貨店）
- ・「コロナ禍も落ち着きを見せ、イベント等への客足も回復している。季節的に人の移動が旺盛になるため、需要の取り込みに努める」（日用品小売業）



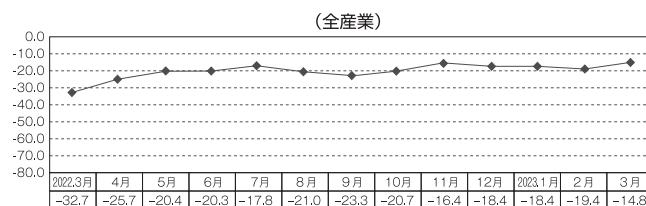
全国旅行支援やインバウンド需要の増加に加え、マスク着用ルール緩和で客足が回復した飲食・宿泊・旅行業を中心に改善。一方、人手不足で需要増に対応が追いつかないとの声も聞かれた。

- ・「インバウンド需要の回復に加え、消費者の意識の変化の見られ、少しずつ団体客の利用も増加。一方で、人手不足が深刻化しており、受注機会を逃してしまうケースも出てきている」（飲食店）
- ・「仕入価格の上昇分についてサービス価格への転嫁を実施。今後の収益改善に向けて、事務作業の効率化による生産性向上を図っていく」（写真業）

業況D Iの推移

	2022年10月	11月	12月	2023年1月	2月	3月	見通し4～6月
全産業	▲20.7	▲16.4	▲18.4	▲18.4	▲19.4	▲14.8	▲16.3
建設業	▲29.9	▲22.9	▲27.2	▲25.1	▲31.9	▲24.5	▲23.9
製造業	▲20.1	▲16.2	▲14.2	▲16.9	▲18.4	▲18.9	▲21.1
卸売業	▲21.1	▲20.3	▲16.3	▲17.3	▲16.4	▲22.4	▲21.9
小売業	▲29.4	▲23.	▲32.1	▲27.1	▲25.9	▲19.5	▲18.7
サービス業	▲8.1	▲4.5	▲7.0	▲8.8	▲8.6	▲2.8	▲2.2

※見通しは、当月に比べた向こう3ヶ月の先行き見通しD I



※調査期間：2023年3月15日～22日

全国327商工会議所から503企業にヒアリング（東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

*D I値（景況判断指標）

業況・売上・採算などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、景況感の相対的な広がりを意味する。

県内企業倒産発生状況

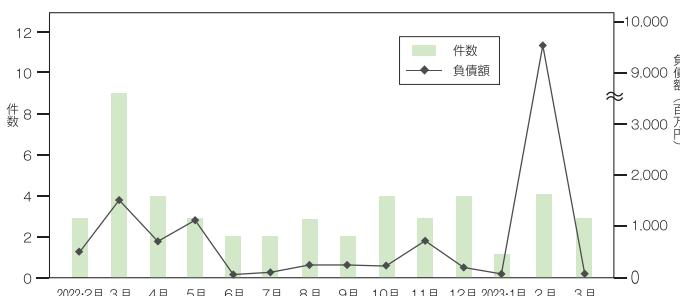
前年同月より件数、負債総額はともに大幅に減少。

令和5年3月概況と見通し

景気の先行きについて、各種政策の効果もあり、持ち直しが期待されるとの見方が続いている。県内の景気も、個人消費、雇用・所得環境は持ち直しを見せているようです。ただし、コロナ禍に於ける倒産抑制に大きな効果を見せた「実質無利子・無担保融資（ゼロゼロ融資）」の返済が本格的に始まり、返済のピークを迎える2023年夏以降は状況が変化する可能性が見受けられます。中小企業庁が2023年1月に新たに開始し

た「コロナ借換保証」は、ゼロゼロ融資のみならず事業再構築に向けた前向きな投資等にも活用できるようですが、一定要件を満たす必要がある等小規模零細企業にとっては敷居が高く、隅々まで行き届いたセーフティネットには成り得ていない状況です。更に、物価高、人手不足、過剰債務等への有効な打開策は未だ見出せておらず、企業倒産は徐々に増えることが懸念されます。

山形県 月別倒産件数 負債額



東南置賜・米沢・南陽・高畠・川西

資料／東京商工リサーチ

県内消費者物価指数 前年の水準を上回った

令和5年2月	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
食 料	109.8	0.3	7.9
住 居	104.7	0.1	3.1
光熱・水道	108.0	▲6.5	▲3.4
家具・家事用品	109.1	▲0.3	10.0
被服及び履物	107.5	0.5	10.5
保健医療	101.1	0.8	1.8
交通・通信	94.1	▲0.4	1.3
教 育	99.5	0.0	1.0
教養娯楽	103.0	0.0	1.7
諸 雑 費	102.5	0.4	1.3
総 合	104.2	▲0.6	3.6

資料：山形県みらい企画創造部統計企画課

百貨店・スーパーの商品別販売額 県内の販売額は前年を上回った

品 目	地 域		全 国		山 形 県	
	百貨店+スーパー		百貨店+スーパー			
	販 売 額	前年同月比 全店舗	販 売 額	前年同月比 全店舗		
紳士服・洋品	31,679	21.6	119	21.7		
婦人・子供服・洋品	107,033	24.2	116	11.8		
その他の衣料品	9,587	3.8	18	76.5		
身の回り品	73,832	27.4	22	4.2		
飲食料品	1,073,128	1.4	9,462	1.8		
家 具	5,593	▲0.9	59	5.6		
家庭用電気機械器具	12,398	▲6.3	46	15.0		
家庭用品	30,749	10.0	224	▲0.8		
その他の商品	227,454	7.5	635	0.7		
食堂・喫茶	10,458	46.9	28	27.0		
合 計	1,581,911	5.2	10,730	2.1		

経済産業省 東北経済産業局調べ

(注・販売額は四捨五入の関係で合計とは一致しない場合があります)

米沢市建築確認申請状況 (専用住宅) 床面積は下回ったが、件数は上回った

令和5年 3月		件 数			床 面 積 (m ²)		
		2・3号 建 築 物	4 号 建 築 物	小 計	2・3号 建 築 物	4 号 建 築 物	小 計
総 数		1	20	21	111	2,156	2,267
新 築		1	16	17	111	1,782	1,893
増 築		0	4	4	0	374	374
前 月 比(%)	総 数	-	133.3	140.0	-	128.6	135.2
前年同月比(%)	総 数	100.0	111.1	110.5	68.9	95.7	93.9

専用住宅 2・3号建築物…建築基準法第6条第1項2・3号建築物（木造3階建築物、木造以外の2階以上建築物など）
4号建築物…建築基準法第6条第1項4号建築物（2・3号に掲げる建築物以外、木造2階住宅など）

米沢市の人口と世帯数

令和5年3月1日現在

人 口 79,180人 (80,112人)

世帯数 33,607世帯 (33,394世帯) 一世帯当り 2.36人 (2.40人)

（ ）内前年同月データ

資料／米沢市政策企画課統計調査担当

一般職業紹介

有効求人倍率は前年を0.09ポイント上回った

米沢市

新規学卒除きパートタイム含む

	求人數	求職數	求人倍率	充足數
令和5年 2月	3,339	2,139	1.56	216
	1,281	660	1.94	-
前月比 (%)	100.6	100.6	100.6	135.0
	85.7	85.7	89.4	-
前年同月 比 (%)	67.3	67.3	106.1	106.9
	65.2	65.	95.6	-

充足数…自安定所の有効求人が安定所の紹介により、求職者と結合した件数

職種別 (山形県)

	求人數	求職者数	求人倍率
管 理	88	46	1.91
專 門 ・ 技 術	4,280	1,913	2.24
事 務	3,162	4,541	0.70
販 売	2,690	996	2.70
サ ー ビ ス	4,620	1,757	2.63
保 安	606	143	4.24
農 林 渔 業	328	250	1.31
生 产 工 程	3,886	1,960	1.98
輸送・機械運転	1,235	540	2.29
建設・採掘	1,558	261	5.97
運搬・清掃	2,168	2,886	0.75
そ の 他	0	1,402	-

(主要業務指標・パートタイムを含む全数)

資料：山形労働局職業安定課